

京都岡本記念病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

承認番号	2019-08
研究課題名	Rapid Response System(RRS:急変対応システム) データレジストリーに関する多施設合同研究
研究責任者	【所属】循環器内科 【指名】小出 正洋
研究主催機関	【主催機関】聖マリアンナ医科大学病院 【代表者】救命医学 教授 藤谷 茂樹
研究期間	【開始】2019年4月8日 【終了】2023年7月31日
研究の背景・目的・意義・方法など	入院患者の不慮の呼吸停止・心停止症例を未然に防ぎ、適切な処置・介入を行う Rapid Response System(RRS:急変対応システム)が欧米では多くの実績を上げています。日本でも現在、当院や他の病院も含め RRS を導入し、協力体制を構築しています。医療界の状況の中で、このような統計を行い、データをきちんと収集し、日本独自の統計を行うことが非常に重要となります。この統計を基礎とすれば、日本において RRS の普及を更に加速することが可能となります。
対象者	RRS 対応した患者様
研究に用いる資料・情報の種類	診療情報(詳細:年齢、性別、酸素投与の有無、手術の有無、ICU退室後 72 時間以内かの有無、バイタルサイン、意識状態、介入、要請基準、イベントの原因、処置の有無、内容、介入 4 時間以内のバイタルサイン、意識状態、その他)上記を活用させていただきます。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、京都岡本記念病院 研究協力者 集中ケア認定看護師 岡 啓太までお問い合わせ下さい。

TEL 0774-48-5500 内線 5111 FAX 0774-48-5553